

<p>1. 主催者・共催者名 地球環境戦略研究機関（IGES）バンコク地域センター、国連環境計画アジア太平洋事務所（UNEP/ROAP）、日本国環境省</p>																													
<p>2. タイトル アジア太平洋地域における気候変動適応に関する知見の共有と協働を促すネットワーク</p>																													
<p>3. 目的・概要 気候変動適応</p>																													
<p>4. アジェンダ（講演者名を含む）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時間</th> <th>プログラム</th> <th>講演者（仮）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18:30 – 18:35</td> <td>本イベントの目的と APAN の紹介</td> <td>プジャ・ソーニー博士（IGES）</td> </tr> <tr> <td>18:35 – 18:40</td> <td>開会挨拶</td> <td>田中地球環境局審議官（日本国環境省）（未確定）</td> </tr> <tr> <td>18:40 – 18:50</td> <td>世界適応ネットワーク（GAN）と地域適応ネットワーク：気候変動適応におけるそれぞれの役割</td> <td>アンナ・コントロフ氏（UNEP-DEPI）</td> </tr> <tr> <td>18:50 – 19:00</td> <td>（アジア太平洋地域における）適応知識管理の役割</td> <td>サリームル・ハク博士（APAN 共同議長）</td> </tr> <tr> <td>19:00 – 19:20</td> <td>準地域でのアプローチと成功事例</td> <td>APAN パートナー：サンジエイ・バシスト氏（南アジア気候行動ネットワーク CANSAs）、エスパン・ロネンバーグ氏（南太平洋地域環境計画事務局 SPREP）</td> </tr> <tr> <td>19:20 – 19:45</td> <td>モンゴルの適応策強化とグリーン開発における APAN の役割</td> <td>渡邊正孝教授（APAN 共同議長）</td> </tr> <tr> <td>19:45 – 19:55</td> <td>質疑応答及びディスカッション</td> <td></td> </tr> <tr> <td>19:55 – 20:00</td> <td>閉会挨拶</td> <td>浜中裕徳教授（IGES 理事長）</td> </tr> </tbody> </table>			時間	プログラム	講演者（仮）	18:30 – 18:35	本イベントの目的と APAN の紹介	プジャ・ソーニー博士（IGES）	18:35 – 18:40	開会挨拶	田中地球環境局審議官（日本国環境省）（未確定）	18:40 – 18:50	世界適応ネットワーク（GAN）と地域適応ネットワーク：気候変動適応におけるそれぞれの役割	アンナ・コントロフ氏（UNEP-DEPI）	18:50 – 19:00	（アジア太平洋地域における）適応知識管理の役割	サリームル・ハク博士（APAN 共同議長）	19:00 – 19:20	準地域でのアプローチと成功事例	APAN パートナー：サンジエイ・バシスト氏（南アジア気候行動ネットワーク CANSAs）、エスパン・ロネンバーグ氏（南太平洋地域環境計画事務局 SPREP）	19:20 – 19:45	モンゴルの適応策強化とグリーン開発における APAN の役割	渡邊正孝教授（APAN 共同議長）	19:45 – 19:55	質疑応答及びディスカッション		19:55 – 20:00	閉会挨拶	浜中裕徳教授（IGES 理事長）
時間	プログラム	講演者（仮）																											
18:30 – 18:35	本イベントの目的と APAN の紹介	プジャ・ソーニー博士（IGES）																											
18:35 – 18:40	開会挨拶	田中地球環境局審議官（日本国環境省）（未確定）																											
18:40 – 18:50	世界適応ネットワーク（GAN）と地域適応ネットワーク：気候変動適応におけるそれぞれの役割	アンナ・コントロフ氏（UNEP-DEPI）																											
18:50 – 19:00	（アジア太平洋地域における）適応知識管理の役割	サリームル・ハク博士（APAN 共同議長）																											
19:00 – 19:20	準地域でのアプローチと成功事例	APAN パートナー：サンジエイ・バシスト氏（南アジア気候行動ネットワーク CANSAs）、エスパン・ロネンバーグ氏（南太平洋地域環境計画事務局 SPREP）																											
19:20 – 19:45	モンゴルの適応策強化とグリーン開発における APAN の役割	渡邊正孝教授（APAN 共同議長）																											
19:45 – 19:55	質疑応答及びディスカッション																												
19:55 – 20:00	閉会挨拶	浜中裕徳教授（IGES 理事長）																											
<p>5. 発表・議事の概要 アジア太平洋適応ネットワーク（APAN）は、気候変動適応に対して高まる緊急のニーズに日々対応している実務者の間をつなぐ地域ネットワークである。「ネットワークのネット</p>																													

ワーク」である APAN は協働アプローチを採用し、気候変動適応に関する多様な知識を効果的に管理・発信しながら、適応実務者の現地のニーズに応えることを目的に活動している。APAN は、様々な国際機関、開発当局その他域内のパートナーと共に、気候変動適応策の策定、必要な資金・技術へのアクセス、気候変動適応を国の開発政策に組み込むための能力構築に不可欠な知見を政府職員や主要担当者に提供している。APAN の使命は、アジア太平洋地域の国々が、気候変動にレジリエントで持続可能な人間システム、生態系、経済を築くための支援を行うことである。

本イベントの目的は、適応ネットワークの役割と必要性、並びにネットワーク形成の重要性を強調し、気候変動適応におけるネットワークの効果を明らかにしながら、APAN とその活動への認識を高めることである。

講演では、ネットワークとネットワーキングの重要性、並びに一般的またはアジア太平洋地域における知識管理の必要性が強調された。また APAN のパートナー機関は、APAN との活動や、気候変動適応に関する知識共有と能力開発について各自の経験を発表した。

「世界適応ネットワーク（GAN）と地域適応ネットワーク」では、APAN の背景と GAN 傘下の地域ネットワークが紹介された後、適応ネットワークの重要性、ネットワークの仕組み、ネットワークの協働パートナーシップアプローチが説明された。また、これまでの教訓と知識管理上の課題として、実際のニーズと需要への確実な対応、共通の目標とインセンティブの必要性、知識共有並びに適切なタイミングを図るための適切かつ最も効果的なチャンネルとアプローチの特定、知識共有とネットワーキング活動の影響・効果の監視と評価などの問題が提示された。

「適応知識管理の役割」では、実務者による知識形成や、科学界と共同で知識を創出することの必要性が指摘された。さらに、そのような知識を獲得し、多様なステークホルダーと共有したり、国家適応計画（NAPs）の策定を支援するためのネットワークの役割も強調された。様々なグループを結びつけ、互いの垣根を取り払うことが、APAN の能力かつ成果の 1 つとして挙げられ、ネットワークの主な役割であることが確認された。

APAN パートナー（CANSAs、SPREP、渡邊教授）による発表では、i) 各パートナーが気候変動適応活動で採用している様々なアプローチ、及び ii) 直面している以下の課題が提示された。

（CANSAs）

- 十分な情報に基づいた適応計画策定の必要性

- 地域レベル（特に南アジア）での情報・分析の不足

(SPREP)

(加盟国が多様で地理的に分散している。)

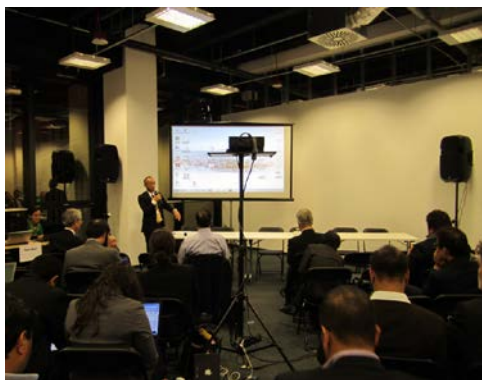
- 旅費がかかり過ぎる。
- 距離が離れているため、[時間的なズレが生じ、時に研修に参加できない国が発生する]。
- インターネットコストが非常に高く、ネットインフラが整備されていない。
- 人材不足

iii) 価値の付加

- 南アジア諸国域内の課題と期待に対する理解の向上
- 災害リスク削減（DRR）、貿易、農業、エネルギーなどの課題が政策に組み込まれている事例の文書化
- 政治的意思を行動に変える取り組みの監視
- 農業、損失・被害、気候ファイナンス、公正な気候戦略等に関する地域の姿を描く取り組み
- 研究及びさらなる知識形成のためのパートナーシップ

「モンゴルの適応策強化とグリーン開発における APAN の役割」では、革新的な適応知識と技術が社会の持続可能性強化に寄与しているケーススタディ（ショートフィルム）が紹介された。

6. 会場写真



環境省・田中聡志審議官による開会挨拶



サイドイベント講演者による質疑応答